

# 第2子以降保育無料

明石市は22日、新年度予算案の概要を発表した。第2子以降の保育料完全無料化▽保育所の待機児童解消へ1000人の受け入れ枠確保▽小学1年生の30人学級導入▽の3重点施策を盛り込んだ。市によると、第2子以降の保育料完全無料化は関西では初で、全国的にも先進的な取り組みとしている。

市の創生総合戦略で掲げる「トリプルスリー」(人口30万人、年間出生数3000人、本の年間

## 明石市9月から実施目指す

貸し出し冊数300万冊)を実現するため実施する。

第2子以降の保育園、幼稚園など保育料無料化は今年9月開始を目指す。明石市は兄弟姉妹の年齢制限や親の所得制限を設けずに第2子以降を無料化。年間約7億円が必要で、市役所新庁舎建設費用としての4億

料だが、明石市は兄弟姉妹の年齢制限や親の所得制限を設けずに第2子以降を無料化。年間約7億円が必要で、市役所新庁舎建設費用としての4億

し、約4億1976万円円の積み立てをやめるのを計上する。国の現行制では、第2子が保育所の場合第1子が小学校入学前、幼稚園の場合は小学3年以下に限り、第2子半額、第3子以降無

「待機」解消へ1000人受け入れも

ニースに定めるよう踏み込んだ。まち全体でしっかり応援していくと話した。新年度当初予算案の一般会計総額は1055億円で前年度比1・8%増。

【駒崎秀樹】

### 新年度予算で計上へ

環。16年度中に民間法人が行う施設整備で市の負担割合を従来の12分の1から24分の5に上げることで、認定こども園、保育所・分園の新設で1000人の受け入れを目指す。予算額は18億8698万円。

泉房穂市長は「よりの民に近い自治体として、